

10月17日森のホールにて、文化の家所有のピアノ（スタインウェイとベーゼンドルファー）の聴き比べ演奏会があり、約30名が参加しました。



③から見た演奏者

# どの席がいいですか？

## ピアノ聴き比べ演奏会



②から見た演奏者



②から見た演奏者  
 さを持ちます。またベーゼンドルファー（以下ベーゼン）は「至福の音色」と呼ばれ、低音部がふくよかで包み込むような音です。  
 第二部はどちらの音色が気に入ったか、多数決でベーゼンが選ばれ、ドビュッシーの「亜麻色の髪の乙女」のさわりの部分を、座席表の五か所で聴き比べました。最後は「マイベストシート」を決め、ベーゼンの特色を生かして選曲されたフランスの作曲家シャルルの「十二の詩的前奏曲」8番と9番を聴きました。

③から見た演奏者  
 第一部は事業係生田さんのお話の後、創造スタッフの了徳寺佳祐さんがフォーレ作曲「シリエンヌ」の中間部を二台で演奏し、その響きを聴き比べました。  
 スタインウェイは「比類なき響き」と呼ばれ華やか



左 スタインウェイ D274 長さ 274 センチ  
 右 ベーゼンドルファー インペリアル 長さ 290 センチ 低音部の鍵が9鍵多い 奥の衝立は音響版

●マイベストシートの選び方  
 聴く以外の要素でも選ぶ方が変わり、演奏者の手が

見たければ左側、顔が見たければ右側となります。音響でバランスが良いのは中央ですが、ピアノは③の方向に響くそうです。  
 この二大ピアノが揃っているホールは全国でも珍しく、演奏会では、使われるピアノにも注目すると楽しみが増すでしょう。

## 生きていた化石 ~メタセコイアの林~

杵ヶ池公園の樹々が  
 ちょっぴり身近に感じられた  
 樹木観察会



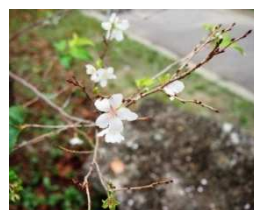
10月21日、第2回樹木観察会が杵ヶ池公園で行われ9名が参加。今回も樹木検定1級の山口勝美さんの案内で、樹にまつわる面白い話をたくさん伺いました。その中から少し紹介します。

「カクレミノ」。葉っぱの形が全部同じではなく2つや3つに分かれていくものがあり、グーチョキパーの木ともいいます。  
 正面入り口を左に行く



ナンジャモンジャ

「マメナシ」は当地方にのみ見られる樹木で、絶滅危惧種です。イヌナシともいい実は食べられません。  
 アベマキの殻  
 付きどんぐりを  
 たくさん見つけました。



↑ 四季桜  
 ← メタセコイア

主な桜の原種は「ヤマザクラ」「エドヒガン」「オオシマザクラ」「マメザクラ」「カンヒザクラ」などで、かけあわせているいろいろな品種が生まれました。  
 公園の「四季桜」は葉と花が小さい「マメザクラ」と葉より先に花が咲き、長寿の特徴を持つ「エドヒガン」をかけあわせた品種。ソメイヨシノは「エドヒガン」と「オオシマザクラ」。根尾村の淡墨桜は原種の「エドヒガン」です。